

大会運営に関する失格条項及び注意事項を Q&A の形式で以下に掲載するので、参考にしてほしい。

## 1. 失格条項

- (1) 解答図と電子データ（USB メモリ（貸与品、以下同様））が提出されない場合。
- (2) 競技中の不正行為や競技委員の指示に違反した場合。

## 2. 会場設備及びパソコン

### Q 1 競技会場は？

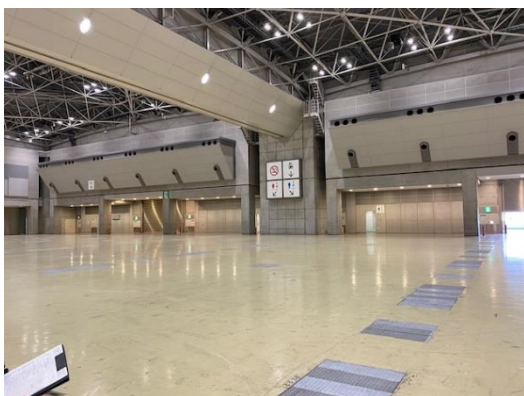
国際展示場（東京ビックサイト）で開催される



【図 1】競技会場の外観



【図 2】会場表示



【図 3】会場内部



【図 4】荷物搬入口

### Q 2 空調関係（温度や換気、暖房）の状況は？

全館空調設備が整っている。大会時期の東京都の平均気温は 7.7℃(12.0℃～3.8℃)

### Q 3 照明の明るさは？

競技会場の床面の明るさは 470 ルクスであり、JIS 照明基準(JIS Z 9110:2000)の 750 ルクスに比べてやや暗い。そのため、蛍光灯スタンド（Z ライト）等を持参してもかまわない。

**Q4 アウトレット（コンセント）は？**

アース付き 3p・100V のアウトレット（コンセント）4 口(1.5kW) を設置予定。

**Q5 選手エリアのレイアウトは？**

1 人あたり 2.4×2.5 m のスペースを確保する。

**Q6 選手はどのような配置で並ぶのか？**

座席は抽選で決めるが、その配置は未定。

**Q7 机のサイズと台数は？**

選手 1 人あたり長机 W1800×D900×H700 mm を 1 台、W1800×D600×H700 mm を 1 台の、合計 2 台を設置予定。肘掛なしの OA 椅子 1 台を設置。

**Q8 停電時の対策は？**

無停電電源装置(UPS)は設置しないので、停電対策を怠らないこと。

**Q9 会場に設置される解答図印刷用のパソコンとプリンタの仕様を知りたい。**

Autodesk Inventor 2022 および Auto CAD（Mechanical 含む）2022 がインストールされた 3 台のデスクトップパソコンが設置される。ただし、本システムは選手のパソコンとは接続されない。プリンタの機種及び台数は選定中。

**Q10 選手が準備するパソコンはデスクトップ型、ノート型のどちらか？**

どちらでもよいが、停電や故障対策を怠らないこと。

**Q11 持ち込んだパソコン類を事前に設定したい。**

パソコン類の設定は、12 月 17 日（金）9:00~12:00 の時間帯で行うこと。

**Q12 故障を考えて予備パソコンを持参したい。**

予備パソコンを持参してもよいが、故障等による競技途中の交換は選手本人が行い、交換に要する時間はロスタイムに含めない。

**Q13 予備のパソコンを選手の競技エリア内で電源 ON の状態で待機させておきたい。**

かまわないが、予備パソコンを切り替えスイッチ等でディスプレイに接続することは禁止する。

**Q14 パソコン類の盗難対策は？**

パソコン類の盗難については保証できない。パソコン及び持参工具は、いったん設置したら、大会終了まで外部に持ち出すことはできないので、セキュリティワイヤーロックなどで予防しておくこと。

**Q15 持参できるモニターの様子は？**

市販のモニターで机の上に載るサイズのものであり、1 つのコンセントで 15A 以内およびサイズについては床面から 1.3m 以下の範囲で性能・台数は問わない。また、予備のモニターについては選手エリア 2.4 × 2.5 m × 1.3m(床面より)のスペースの範囲に収めることが可能であれば 2 台であれば構わない。電源容量の関係から、次回大会以降に持参できるモニターの台数は、メインモニター、サブモニター、予備モニターの 3 台までとし、競技中に使用できるのは 2 台までとする」ことを検討している。

**Q16 会場に準備されているプリンタに持参したパソコンを直接接続して出力したい。**

認めない。

**Q17 プリンタを持参したい.**

原則として、主催者側が準備したプリンタを使用すること。ただし、選手持参の CAD ソフトがそれに対応しない場合に限り、A1 タイプの印刷が可能であり、かつ、選手のスペース内に設置可能な機種であれば、選手一人につき 1 台持参して、随時印刷に使用してもかまわない。1 台のプリンタを複数の選手で共用することはできない。なお、電源容量の関係から、プリンタを持参する場合は事前に主催者に届け出ること。

**Q18 プリンタ用紙は、何を使用するのか？**

詳細は未定。

**Q19 簡易製図機械（卓上ドラフター）を持ち込みたい.**

認めない。

**Q20 テスト印刷用のサンプル図面及び動画再生ファイルには何を持参すればよいのか？**

出力の確認ができる図面（動画再生を含む電子ファイル）なら何でもかまわないが、2~3 分程度で完了する程度の図面及び動画サイズであること。

**Q21 12 月 17 日（金）の時間内にテスト印刷が完了しない場合、引き続いて関係者による機器等の調整を行いたい.**

特別処置として、同日午後の時間を使用して印刷設定を行ってもよい。ただし、その時間を使っても設定が完了しない場合はそのまま終了し、翌日の競技は選手個人が対処する。

**Q22 荷物の搬入について**

会場は西展示棟 3 ホール（4 階）である。図 4 の荷物搬入口にトラックを横付けできるようになっているので、荷物の搬入にエレベーター等を使用する必要は無い。会場のフロアマップは下記の URL を見ること。

[https://www.bigsight.jp/download/pdf/bigsight\\_map\\_color\\_j.pdf](https://www.bigsight.jp/download/pdf/bigsight_map_color_j.pdf)

### **3. CAD ソフト**

**Q 1 印刷用の CAD ソフトが Autodesk 社製なのはなぜか？**

技能五輪国際大会において、標準の設備であるため。

**Q 2 持参するパソコンの OS が Windows 以外であるが参加できるのか？**

印刷用プリンタを持参すれば参加できる（2. 会場設備及びパソコン Q17 参照）。

**Q 3 「持参工具一覧表」で指定されたファイル形式以外の CAD ソフトでは参加できないのか？**

印刷用プリンタを持参すれば参加できる（2. 会場設備及びパソコン Q17 参照）。

**Q 4 使用する CAD ソフトが Inventor と互換性がないため、Inventor をインストールしたもう 1 台のパソコンを持参して、不具合を修正したい.**

2 台目のパソコンを持ち込んでもかまわないが、競技委員の立会いのもとで図面データの転送を行い、正常に転送できた後は 1 台目の電源を切ること。2 台を同時に使用することはできない。

**Q 5 Inventor のバージョンが会場に設置されるバージョンと異なるが問題はないか？**

印刷用パソコンにインストールされている Autodesk Inventor 2022 および Auto CAD（Mechanical 含む）2022 は、基本的に旧バージョンを読み書きできることになっているが、保証はできない。Autodesk 社から体験版を無償で提供してくれるので、HP で確認すること。

**Q 6 図面印刷用のパソコンには USB メモリ以外のメディアは使用できるのか？**

解答図は、USB メモリに保存してプリンタに出力するので、他のメディアは認めない。選手が持参するパソコンには USB 端子が付いていること。

**Q 7 会場に準備される図面印刷用パソコンに、持参する CAD ソフトをインストールして印刷したい。**  
認めない。

**Q 8 2D-CAD 及び 3D-CAD ソフトは何でもよいのか？**

「持参工具一覧表」で指定されたファイル形式で読み込み可能であれば何でもよいが、3D-CAD ソフトについてはソリッドモデルが作成できかつ、分解組立てのアニメーション動画が作成できること。

**Q 9 持参する CAD ソフトに、記号等を事前に登録しておいてよいか？**

登録しておいてよい。

**Q 10 テスト印刷以外で文字化け等を確認できる機会はあるのか？**

ない。

**Q 11 持参する CAD ソフトで使用するフォントの設定は？**

AutoCAD DWG ファイルを印刷する場合、印刷設定ファイルには極力、特殊な線種・フォントを用いないこと。DXF ファイルについては、正常に出力できるようなフォントを選択しておくこと。

**Q 12 印刷設定ファイルを保存したい。**

印刷設定ファイルは、テスト印刷の段階で USB メモリに保存しておくこと。

**Q 13 持参工具一覧では「図面の印刷だけに用いるので、選手が使うソフトは読み込み可能なファイル形式であればよい」とある。3D データは Inventor 形式に指定されているが、2D データは DWG でもよいということであれば AutoCAD Mechanical で作成しアウトプット（印刷）も同 CAD で行ってもよいのではないかとわざわざ Inventor 2D にする必要はないのではないかと？**

3D 作成で Inventor を使用し、2D 変換で AutoCAD (Mechanical 含む) を使用することは一向にかまわない。

**Q 14 CAD の特性から、長さに関わるサイズ公差の ISO コード方式で、上または下の許容差が 0 の場合でも符号がついてしまうなどの不具合があるが、そのままにしておいてもよいかと？**

JIS に適合するよう修正すること。

## 4. 競技課題

### 4.1 第 1 課題、第 2 課題共通

**Q 1 課題図及び課題文は非公表か？**

競技開始直後に、見学者に公表する（当日公表）。

**Q 2 競技は、1 課題を 1 日ずつ、合計 2 日間で行われるのか？**

その通り。

**Q 3 競技課題の内容は、前回と同様と考えてよいか？**

前回とほぼ同様である。

**Q 4 競技時間内に作品を提出しても、競技時間終了時に作品を提出しても減点や加点は無いと考えて良いか？**

その通り.

**Q 5 解答図の図面サイズは？**

第1課題はA1, 第2課題は課題文にて指示します.

**Q 6 課題図に鉛筆やマーカーペンで書き込んで良いのか？**

自由に記入して良い.

**Q 7 第1課題にハッチングは必要か？**

断面図の切り口にハッチングを, 施しても施さなくてもよい.

## 4.2 第1課題

**Q 1 課題図は第三角法で描かれた組立図が, 紙で与えられるのか？**

その通り.

**Q 2 課題図の寸法をスケールで測定するのか？**

その通り.

**Q 3 3D-CAD を使用してもよいのか？**

2D-CAD, 3D-CAD のどちらを用いてもよいが, 解答図は第三角法(2D)で描かれていること.

**Q 4 3D-CAD で作図した場合, 解答図のフィレットは接線エッジで表示してもよいのか？**

第1課題の解答図はすべて JIS に基づいて製図すること. なお, 「JIS B 0001:2019 機械製図」では, 正接エッジ(接線エッジ)を使用してもよいことになっている.

**Q 5 表面性状の一括指示は可能か？**

表面性状の簡略図示方法(「JIS B 0031:2003 製品の幾何特性仕様(GPS)―表面性状の図示方法」の図 23, 図 24 または図 25)を用いて, 除去加工以外の面も含めたすべての面に記入すること. なお, 大部分の表面が同じ表面性状の数値を一括指示する場合は, 簡略指示してもかまわない.

## 4.3 第2課題

**Q 1 第2課題は, どのような内容なのか？**

与えられた実物モデルを, 持参した測定具を使用して測定, スケッチする. スケッチを基にソリッドモデルを作成し, アセンブリ機能を用いて配置し, マスプロパティを計算する. さらに 3D 分解立体図を描く. また, Auto Desk Inventor における Studio 機能を使用した簡単なアニメーションを作成する.

**Q 2 アニメーションは, どのような内容なのか？**

3D-CAD ソフトのアニメーション機能を利用して, 選手が作成した複数のソリッドモデルの組立て(または分解)手順および動作を, 指定された再生時間の動画で生成し, AVI または MP4 形式のビデオフォーマットで再生可能なファイル形式で提出する(Windows10 の動画キャプチャー機能を使用してもよい). モデルの配色は自由だが, 組み立てた際に常に隣り合う部品どうし, および部品と背景色が明瞭に区別できるようにすること. レンダリング処理は不要. アニメーションの作成時間と保存にかかる時間は競技時間に含まれるので, 高スペックのパソコンを持参することが望ましい. 採点に使用する動画再生ソフトは「VLC メディア・プレイヤー Ver.3.0.16」を予定している. 選手が事前に作成したサンプル動画が正常に動くか否かを, テスト印刷(12月17日)の時間を利用して確認してもかまわない.

**Q 3 課題の与え方は, どのようなになるのか？**

競技開始前に課題部品(実物モデル)を配布し, 機能を説明する.

**Q 4 実物モデルは機械加工品なのか、鋳物部品または射出成形品なのか？**

今回の課題は、プラスチック樹脂成形品である。

**Q 5 実物モデルは、どの程度の大きさを想定しているのか？**

W250 ×D100 ×H75 mm 以下を考えている。これを超える場合は、課題文にサイズを記述する。

**Q 6 実物モデルは競技途中で回収するのか？**

回収しない。

**Q 7 測定、スケッチの最中に CAD を使用できるのか？**

測定、スケッチの最中に CAD を立ち上げ、これをモデリングに使用してもかまわない。

**Q 8 実物モデルの測定誤差の許容範囲はどれくらいか？ 機械加工面では？ 鋳肌面では？**

測定値は小数点以下 2 桁目を四捨五入した値を用いること。例えば、測定値が 52.26 mm であれば、図面入力の数値は 52.3 mm となる。

**Q 9 外形の寸法は 1 桁でも可能だが、穴の位置は穴の中心位置を測定しているわけではなく、基準面から穴の下面の位置を測定しておりまた穴間の壁面同士も測定しているので、穴径との関係もあり 1 桁にまとめると誤差が大きくなる。**

実物モデルの加工精度及び持参測定具の測定精度を考慮すると、小数点以下 2 桁目の数値は誤差が大きすぎて意味をもたない。そのため、測定値の小数点以下 2 桁目を四捨五入して小数点以下 1 桁の数値に丸め、それを使用すること。ご質問の穴間隔についても同様である。

**Q 10 ねじ形状はどこまでモデリングするのか？**

めねじ内径またはおねじ外径の測定値に基づく円筒または円錐面をねじの実体とし、ねじ山形状はモデリングしないこと。ただし、穴機能でねじを作成するとねじ部にねじのテクスチャが自動生成されてしまう場合があるが、これはそのまま表示しておいてかまわない。

**Q 11 選手に要求される各種の解答図はどのような目的に使用されるのか？**

各提出物の使用目的と要求事項は、以下のとおり。

- (1) ソリッドモデルの 3D モデルファイル  
3D モデル作成の確認などに用いる。
- (2) 分解立体図  
課題製品の構成する部品の組み合わせ方、各部品間の相互関係を評価するために共通の軸線上に相互に正しい向き、順序で、離して配列した状態になどについて採点する。
- (3) ソリッドモデルの体積を示すテキストファイル  
テキストファイル上に記載されているマスペロパティの数値を、採点の対象とする。3D モデルに示されているマスペロパティの数値を四捨五入せずに入力すること。
- (4) アニメーション (AVI または MP4 動画)  
モデリングが完成しているか、そのサイズは適切か、決められた順序と動作で動くか、指定された時間内に収まっているか、などについて採点する。

**Q 12 履歴は見るのか？**

確認のために閲覧することもあるが、採点対象にはしない。

**Q 13 静止画像データは、各自が使用する CAD ソフトの画像圧縮ファイル形式で作成してよいのか？**

JPG など、Microsoft ペイントで見ることができているピクチャーファイルで保存できればよい。

Q 1 4 USBメモリに保存するソリッドモデルの電子データの保存形式は、各選手が使用するCADソフトのファイル形式でよいのか？

かまわないが、できるだけIGES, SAT, STEPで保存すること。

Q 1 5 第2課題の実物モデルにケガキ線等を入れてもかまわないか？

かまわない。

Q 1 6 実物モデルは競技終了後もらえるのか？

差し上げる。

## 5. 持参工具

Q 1 使用するパソコン類や測定具等を宅配便などで搬入したいが、いつから可能か？ また、あて先は？  
後日、選手向けに大会事務局からアナウンスされる参加要領を参照のこと。

Q 2 予備のパソコンや持参した測定具を保管しておく倉庫はあるのか？

競技エリア内に持参工具置場を用意している。重いものを運ぶための台車があると便利だと思われる。

Q 3 機器類は下見受付の際に持参してもよいか？

直接持参するのはかまわないが、同日の集合時刻に間に合うこと（時間厳守）。

Q 4 「持参工具」で指定された測定具以外を持参してはいけないか？

指定された測定具のみを使用して、工夫して測定すること。

Q 5 工具を載せる台などを持参してもよいか？

持参してよいが、作業エリア内に置けるようにすること。

Q 6 ノギス300mm程度とあるが、それより大きくもかまわないか？

課題により使用するノギスのサイズが決まるので、持参工具一覧で指示されたものを持参すること。

Q 7 測定具の先端を加工して使用してもよいか？

測定具を改造して使用してはならない。

Q 8 円弧ゲージ、ピッチゲージのサイズはどの位が必要か？

ゲージ類、工具類は市販品でよい。

Q 9 ドライバは何に使うのか？

出題される課題の実物モデルを分解組立をする場合に用いる。選手にその構造を理解してもらい、分解された部品をスケッチに利用してもらうためである。分解にてこずるようであれば競技委員等が手伝う。選手全員が分解し終わるまでは、競技は開始しない。また、使用しない課題もあるので競技委員の指示に従うこと。

## 6. 競技中

Q 1 競技時間と休憩時間の配分は？

休憩時間は、「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドラインについて（基発第0405001号、平成14年4月5日）」に基づく処置と、トイレ休憩のために設けている。

**Q 2 休憩時間に選手は自由に行動できるのか？**

トイレ休憩以外は、自席で休憩すること。

**Q 3 昼食は、競技会場で摂るのか？**

昼食は競技会場と別のフロア、または屋外で摂っていただく予定。

**Q 4 競技時間が延長されることはないのか？**

競技の進捗状況により、第1、第2課題とも延長はあり得る。

**Q 5 競技中にトラブルが発生した場合、付き添いの手助けはできるのか？**

できない。選手対応である。

**Q 6 競技中、検図のために紙への印刷は何度でも可能なのか？**

可能だが、順番待ちで並ぶこともあり得る。

## 7. 解答図の印刷

**Q 1 図面の出力方法を知りたい。**

各選手は、解答図を保存した USB メモリを会場に設置されたデスクトップパソコンに差し込み、それと接続されたプリンタで印刷する。

**Q 2 出力する図面はカラーでもよいのか？**

用紙に出力された図面は白黒（モノクロ）に限る。

**Q 3 解答用紙はA1の大きさで、四周をそれぞれ20 mmあけて輪郭線を引くことになっているが、プリンタとの関係でどうしてもずれて20 mmとれない場合もあることが予想されるが、どのくらいの誤差まで許されるのか？**

プリンタの機種の特性に依存する場合は不問とする。

**Q 4 データには出力されない線もあるが、残しておいてよいのか？**

残っていてもよい。

**Q 5 選手はどのような順番で印刷するのか？**

順番に印刷していただく。時間内に印刷できない場合は席次の最後に回って、再印刷することができる。

**Q 6 プリンタを持参した選手は、どのような順番で印刷するのか？**

他の選手全員の終了時刻までに印刷が終了していればよい。

**Q 7 解答図の印刷中に文字化け等の不具合があったとき、図面を修正できるか？**

印刷のやり直しは、プリンタの尺度のミス、図面のズレ、カスレなど、印刷にかかわる調整のみとする。なお、異なった CAD システムを使用した際の線種の変換程度の軽微の修正は、印刷中でも認める。

## 8. 採点・作品展示

**Q 1 第1課題と第2課題の配点および採点方法はどのようなものか？**

配点、採点基準は公表しているので、それを参照のこと。

**Q 2 採点は印刷した図面で行うのか、USBメモリの扱いはどうなるのか？**

採点は出力された図面で行う。採点時に USB メモリのデータを参照することがある。



**Q 3 過去の優秀作品で、課題説明文にはない指示（投影法や尺度）が書かれている例があったが、とくに減点にはならないのか？**

課題説明文に書かれた要求事項だけが採点対象となる。それ以外が書かれてあった場合は、それが JIS に準じて正しければ不問であるが、誤っていれば減点される。

**Q 4 1位作品の取扱いはどうなるのか？**

大会終了後、中央職業能力開発協会（JAVADA）のホームページで公開する。

## **9. 新型コロナウイルス（COVID19）への対策**

**Q 1 具体的なコロナ対策はどうなるのか？**

ソーシャルディスタンスを考慮したレイアウト(競技エリアや課題説明エリア)としている。

大会中は選手および大会関係者はマスク着用としている。

課題説明時に各選手は競技エリアに着席して、マイク・プロジェクターにより説明する。

開会式における選手紹介も同様に、選手は各競技エリアに着席して行う。また、自己紹介・決意表明については、各選手1分以内の動画により行う。

手のアルコール消毒については、各選手が自分でアルコール消毒液・消毒用シートを持参すること。

\*大会全体については JAVADA に問い合わせるか、HP に公開されるものを参考とすること。

以上